



仮設観覧所

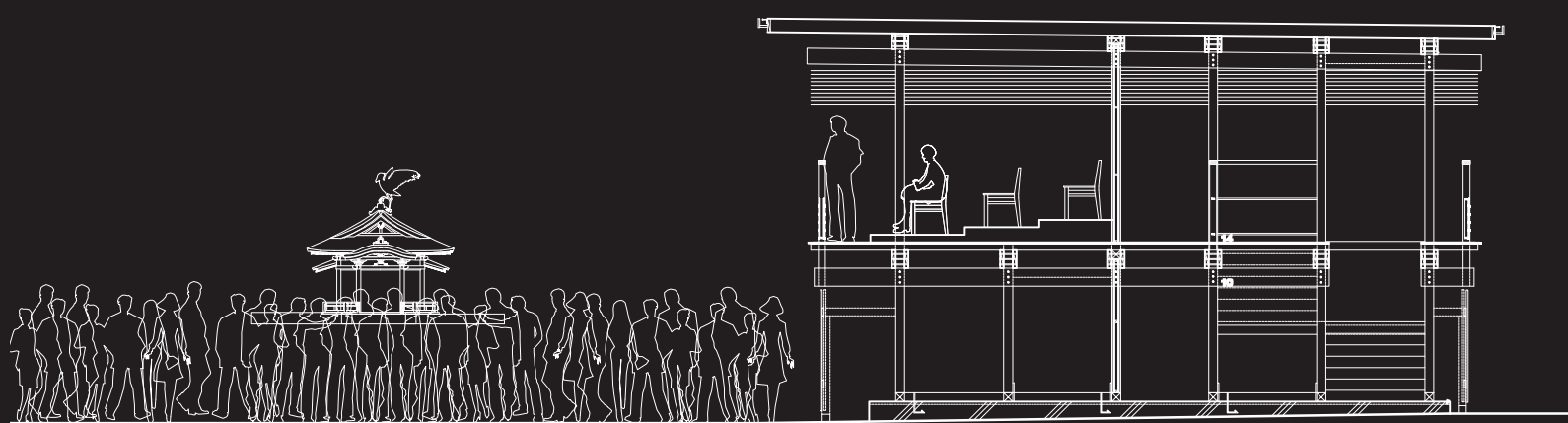
江戸の三大祭りの一つである深川八幡祭りの3年に1度の例大祭が、昨年8月に東日本大震災早期復興を祈願して行われた。永代通りに連なる神輿連合渡御を観覧するために、例大祭の期間のみ仮設の木造の観覧所が建てられた。東北の復興を祈念し、主要構造部のズギは福島県東白川郡産と構造用合板は宮城県石巻産を用いた。最小限の壁と柱の合理的なプランとし、柱を挟みこむ挟梁、根太、床、小屋梁、母屋と部材を積み重ねるだけの単純な木構造とした。柱と梁の接合は、仮設のため、少人数で手間なく組み立て、解体のしやすい3本のボルト締め工法とした。



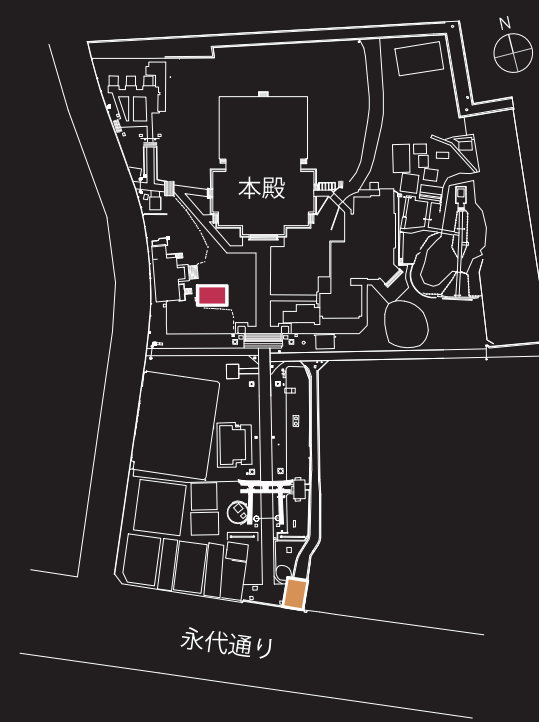
休憩所

天皇皇后両陛下の行幸啓や東日本大震災早期復興祈願祭という特別な祭りの記憶を残したいという関係者の想いから、2階部分を平屋建てとし、境内の休憩所に再建した。手すりの支柱と笠木は三角形に加工し、根太と組合わせて壁の仕上げとした。また、1階の梁は休憩所に置くベンチに加工し、1階の柱では記念品のペントレーを製作し、解体した材料は余すところなく、再利用した。休憩所は、本殿を眺められる絶好の場所で、東北の復興と深川の繁栄を見守るかに静かに佇んでいる。

富岡八幡宮 仮設観覧所・休憩所



仮設観覧所 断面図 1/100



仮設観覧所
休憩所
境内配置図



休憩所 断面図 1/100

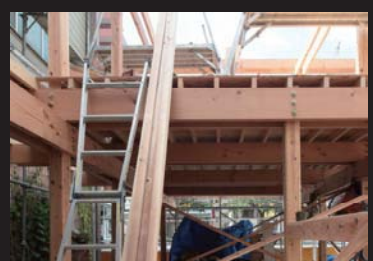
東北の材料 ----- 工事 (3日間) ----- 例大祭当日 ----- 解体 (5日間) ----- 製材 ----- 工事 (3日間) -----



主要構造部 (スギ): 福島県白河郡産



基礎



梁・根太・床



梁の固定



構造用合板: 宮城県石巻産



アンカー、ホルダー、金物



3本のボルトで固定する挟梁



テント屋根を小屋垂木に固定



例大祭当日



壁→手すり→床→軸組と丁寧な解体



基礎は分割し、別の場所で解体



解体した材料は境内に保管



柱 (スギ) 材を記念品のペントレーに加工



手摺 (スギ) 材を三角柱に加工し壁材に



梁 (米松) 材をベンチに加工



再組立て



建方完了